

第3回ふるさと佐賀紀行「佐賀さ行こう！ふるさと大発見の旅」を終えて

関西佐賀県人会では、設立65周年を記念して、第3回ふるさと佐賀紀行「佐賀さ行こう！ふるさと大発見の旅」を実施いたしました。

今回は、大阪南港から往復フェリーを使って、去る10月31日(月)から11月3日(木)までの3泊4日の船旅で、有志35名の参加を頂きました。

10月31日、午後6時に大阪南港に集合。参加の皆さんは元気潑刺で、定刻までにお集まりいただきました。そして、出発ロビーにおいて、井本団長より「皆さんと楽しい旅をして、沢山の思い出を持ちかえりましょう」と旅の無事を願っての結団式を行いました。

私たちは名門大洋フェリー「きたきゅうしゅう2号」に乗船して、各自寢床を確認して、船上レストランに集い、夕食のバイキング料理をいただきました。皆さん、しっかり食べて、しっかり呑んで、秋の夜長を船上でくつろぎました。



翌11月1日、船は午前8時30分定刻に新門司港に接岸いたしました。乗船した「きたきゅうしゅう2号」をバックに記念の写真を撮りました。

その後、私たちの到着を待っていた「祐徳バス」に乗り込み、一路佐賀城本丸歴史館を目指して出発いたしました。祐徳バスの丸田ドライバーに2日間“いのち”を預けての旅のはじまりです。



午前11時に「佐賀城本丸歴史館」に到着です。古川副館長様をはじめスタッフの皆様に出迎えて頂き、早速館内を見学いたしました。

幕末・維新のざわめきに胸を熱くする「佐賀城」の面影を偲ぶことができました。鍋島36万石のシンボル「佐賀城」が完成したのは江戸時代の初期です。武士の時代から近代へ移り変わる激動の歴史を見守った城下町には、今も武家屋敷や商家などが当時のままの姿で残されています。

「佐賀城本丸歴史館」の見学を終えて、「御玄関」をバックに記念写真を撮って、昼食会場へと移動しました。



昼食は、佐賀県庁の西側に位置する「ホテルニューオータニ佐賀」で頂きました。ホテルの方々にはグリーンハッピーをおった私たちを気持ちよく出迎えて下さいました。

慌ただしく昼食をとり、わがふるさとのシンボル「佐賀県庁」へ向いました。

全員がハッピー姿のまま知事室に案内され、山口知事様が温かく迎えて下さいました。参加者も身近に山口知事様に面談できたことに感激いたしておりました。山口知事様も予定の時間をオーバーして、和やかな懇談のひとつきをご一緒して下さいました。

知事室を辞して、最上階の12階に上がり、展望室から360度のパノラマで佐賀の町並みを展望いたしました。

翌朝の佐賀新聞に、私たちの知事室訪問の記事が掲載され、佐賀新聞社から武雄の宿泊ホテルに35人分を届けて下さいました。

掌と心になじむ陶磁器づくり

か香蘭社



代表取締役社長 深川 祐次

844-8401 佐賀県西松浦郡有田町幸平一丁目3番8号
大阪店 取締役営業本部長 中井 朗
550-0013 大阪市西区新町1-2-13 新町ビル2F
TEL 06-6578-1721 FAX 06-6578-1717